

団体名 一般社団法人やまぐちGISひろば（宇部市）

代表者名	三浦 房紀	団体の目的
構成員数	123人	GIS(地理情報システム)の技術者同士の情報交換、関連機関や研究団体との連携を通して、GISに関わる技術の向上や普及を図るとともに、地域創生の一翼を担う技術として活用することを推進する。
設立	2017年(H29年)6月	
問い合わせ先	0836-45-3042 (弘中)	

事業名 地域の防災活動を支援する防災GIS（地理情報システム）構築事業

事業の目的 ・防災図上訓練で取得する地域の危険箇所情報を大判地図(紙)ではなくGISに電子記録することにより、地域自らにより、GISを活用した地区ハザードマップ等の地域防災計画立案が行えるような仕組みづくりを進める。

事業の内容 ・防災ワークショップ
 開催日：10月17日 9:00～15:00 場所：大道中学校
 参加者：39人
 内容：・過去の災害事例の学習
 ・開発したGISアプリを使った危険箇所のデータ収集
 ・地区ハザードマップ作り
 ・第6回GISフォーラム（防災GIS講演会）
 開催日：2月13日 13:00～16:30 場所：山口県セミナーパーク
 参加者：76人
 内容：防災教育におけるGISの適用事例についての有識者講演会

事業の成果 ・ふるさと学習の一環として、中学校で防災教育を行ったことにより、防災士、学校、地域住民が一体となった地域防災活動が実施できた。
 ・地域の産官学民でコラボレーションすることができた。

活動現場レポート 防災ワークショップ2020〈R2.10.7/大道中学校周辺〉

今回は、昨年までの山陽小野田市での取組から、防府市に場所を変えて、中学校との連携を新たに加えて実施されました。

午前中は、中学生も参加し、大道中学校から4コースに分かれてまち歩きしながら、地元の防災士の案内で、危険箇所の確認とタブレットへのデータ入力を行いました。各地点で防災士や地元の方から過去に発生した災害の説明がありました。

午後のワークショップでは、示されたマニュアルをもとに、収集した情報をパソコンでGISに反映させて災害危険箇所のマップを作成し、午前中のまち歩きの成果を、班ごとにマップを使って発表しました。

1日の行事で、高低差のある体力が必要な行程でしたが、参加者全員が、真剣にまち歩きやワークショップに取り組まれていました。



危険箇所の確認



グループワーク